

流動接触分解装置 (FCC=Fluid Catalytic Cracking)

重油留分を触媒の作用によって分子の大きい重質油留分を低分子のガソリンや中間留分に分解する反応分解し、500度以上の高温で重質油と流動接触分解触媒とを接触させ、低沸点の炭化水素に変換する装置でガソリン留分を50%前後の収率で得ることができ、石油精製分野では、白油の得率を高めるために非常に重要であり、効率的な精製方法として、精製元売各社は製油所にFCCを増強する傾向にある。

ローリー(lorry)

貨物自動車のこと、石油業界では石油製品を運ぶタンクローリーの略称。石油製品の国内輸送手段の約50%を占める。1971年に14kℓ積み、78年に20kℓ積みの大型ローリーが認められ、91年には道路交通法の保安基準改正で24～26kℓ積みの大型トレーラーが導入された。94年に消防法の改正で最大積載量が30kℓへ引き上げられた。